

2023年5月13日



萌黄会だより 春号



黄柳野高校萌黄会
(卒業生等保護者の会)

会長 浦山浩子

新緑が目鮮やかなすがすがしい季節となつてまいりました。黄柳野の山には山藤が綺麗に咲いていました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

黄柳野高校では、まだまだコロナの為不便な生活が続いていますが、新入生74名を迎え、全体175名(男子117名、女子58名)で新学期が始まっています。

今年の萌黄会総会は、6月3日(土)に湯谷温泉の泉山閣で行われます。総会后萌黄会本来の目的である、会員相互の親睦がようやく出来るようになりました。

『3年生を卒業させて』

3年A組担任 菅原周平

今年の卒業式は2月18日(土)に行われ、A組29名、B組27名、合計56名の生徒が新たなステージへ進みました。今回卒業した生徒は新型コロナウイルスの影響で6月に新学期が始まりました。入学式はなく本来の寮生活だけでなく、未知のウイルスにどのように対応していけばよいか不安が多い中で学校生活が始まりました。

私自身も約10年ぶりの担任でとまどうことも多く、不安の中でも「やるしかない」という気持ちでスタートしました。1、2年生の時には活動が制限され不自由な思いをさせたと感じます。ただ3年生になって状況が大分変わり、修学旅行(沖縄)に行くこともでき、また学園祭でも模擬店の復活、卒業生の来校が可能になり、以前に戻りつつあり、少しでもコロナ以前の活動を体験することができて良かったかなと思います。

卒業式では生徒には「これから10年間は山あり、谷ありで大変なことも多いけどそこを乗り越えられれば自分の行いたいことができる。ただしんどい時には黄柳野に連絡してね」と伝え、保護者の皆さまには「保護者の皆さんが三年前に感じた寂しさ、不安がようやく卒業式の一週間前に共有できました。そして三年間預けてくれたお子様を様々な学びなどを経験してお返しします」と挨拶しました。これからは萌黄会の皆さまの助けを頂き、卒業した生徒の成長を見守っていきたいと思います。





『黄柳野で仲間との出会いが育んで』

東部支部 秋元 恵美(2022 年度卒業)

息子たちが黄柳野に入学する年はコロナで日本中が混迷していました。

当たり前の生活が元々当たり前ではなかった息子たちです、やっと決断をして新しい生活に踏み出そうとしているのに、また気持ちに変化して親元から離れての学校生活を嫌がったらどうしようと入学までの数か月は落ち着かない日々でした。

やっと入学の日を迎えましたが入学式は無く寮の中へも入れず、校舎の前で言葉を少し交わすだけの別れは胸に詰まるものがありました。

寮での生活は心配で不安でしたが、「寮でトラブルがあるのは慣れてきたってことだから」と迎え入れてくださった先生の言葉通り、息子は色々な事を経験しながら家族以上に相談し信頼できる友ができました。クラスや部活でも学年を超えて学校生活を楽んでいる姿は以前では想像もできませんでした。息子が息子らしいままで、なりたかった自分に成長していったのは黄柳野の先生方がひとりひとりの個性を受け止めて焦らずに見守ってくださったからだと本当に感謝しても感謝しきれません。

コロナ禍で保護者の来校できる行事が減ったことで学校の様子がわからない事ばかりでしたが、私自身も息子の事で不安や悩み疑問を、東部支部での支部会がある事で交流でき先輩保護者の方やOBの方に話し相談することで随分と心が軽くなり安心することができました。親が笑顔でいることが子どもも笑顔になる事につながるのだと感じました。息子が親元を離れるチャレンジをしたので、私も息子の頑張りに負けないように1年で副支部長、2年生では支部長をさせて頂きました。コロナ禍で活動がほぼ無い役員としては楽な年だったと思います。ただ息子だけではなく、役員を通して私にも黄柳野での繋がりは尊く自分自身が成長できた3年間になったと思います。

卒業して黄柳野までの送り迎えがなくなり車中での楽しみだった息子との会話の時間は無くなりますが、これからも黄柳野で充電できた力を親子共々大切にしていきたいと思っています。



『やり直しという名の成長』

東海支部 高橋 弘典(2022年度卒業)

中学校の一年生で不登校になり息子の時間は一時停止。不登校の子を持つ親として、それは一時停止とは思えない先の見えない時間でした。そんな中で駆け込み寺のように見つけたのが黄柳野高校。学力向上、大学進学なんてどうでもいい。ここに通うことでまずは普通の人間として当たり前の日常を取り戻すためやり直したい。これは親子共通の願いでした。

コロナ禍で入学式すらできないまま不安な高校生活が始まりましたが、確かな変化が息子には現れました。帰寮日の際の車中での会話の内容は生徒会長になっての苦労話だったり、ボルダリングの話。そして友達の話。それは過去や現実逃避的なものではなく、着実に前を向いて成長していることがみて取れました。何よりこの学校を選んだのは息子自身。息子は自分自身で未来を選択し、そのための努力をしたということなのです。親はそれに伴走していたに過ぎない。

この学校には多くの伴走者がいます。個性的で情熱的な先生たち、同じ悩み、環境でこの学校に入ったクラスメイト、先輩と後輩、そしてその保護者…。みんなこの3年間というかけがえのない時間を駆け抜けました。気がつけばやり直しのつもりだった時間は親子で成長できたかけがえのない時間だったのです。

これはやり直しではなく、自分で自分を律し、自分の足で立つことができる人間への成長。大切なのは子どもを信じて見守ること。そして、付かず離れず寄り添うこと。そうすることで自分も成長させてもらうこと。それは必ず子どもにも伝わります。それが「やり直しという成長」という結果に繋がるのだと私は思います。



『感謝を込めて』

西部支部 上山 育代(2022年度卒業)

中学1年の夏、息子は学校を休みがちになりました。このまま家にいると引きこもってしまうんじゃないかなという不安の中、中3になり進路を決めなければいけなくて、悩みながら探してる時にネットで黄柳野高校を見つけました。

見つけた時は嬉しくて、息子もこの学校に入れたら何か変わるかもしれないと暗かった場所に光が見えた気がしました。

オープンキャンパスに参加しましたが1日もたず、やはり無理なのかなと思ったのですがもう一回チャレンジすると言ってきて無事に入学する事が出来ました。

入学してからも色々ありましたが、その度に先生方に相談させて頂きなんとか乗り越える事ができました。クラブも先生に誘って頂いてムエイ(キックボクシング)に入り、尊敬する先輩にも出会えて試合に出ると聞いた時は嬉しい反面そんな大勢の前に出れるのかとても心配でした。

でもリングに上がり頑張ってる姿を見てすごく感動したのを鮮明に覚えています。

1年生から一緒にいてくれた友達、息子と仲良くしてくれてありがとうございます。

黄柳野高校の先生方、息子に関わって下さった方々本当にお世話になりました。

感謝の気持ちでいっぱいです。

息子自身は気づいてなさそうですが目に見えて考え方や心を成長させてもらったなと思っています。4月から専門学校に入学が決まり、新しいスタートで不安もありますが黄柳野高校で成長させてもらった自信を土台に前を向いて頑張っていってほしいと思っています。

ありがとうございました。



『学習活動報告会に参加して』

萌黄会中央支部 猪子 直美(2018年度卒業)

3/10(金)新城文化会館において、「2022年度 黄柳野高校 学習活動報告会」が開催されました。地域の方に黄柳野高校の活動を、生徒を通して知っていただきたいとの思いで、昨年に続き2回目になります。また、生徒たちにとっても他のコースの活動を知る良い機会になっています。和太鼓部の演奏から始まり、ステージ上ではスライドも使用しながら、生徒が自分の言葉で取り組んだ活動について立派に報告してくれました。印象的だったのは、自分一人ではできない事でも、人と人が繋がることで大きな力になること。様々な考え方がある中で、自分がどうしたいかを考え行動に移すことで、よりよい活動がおこなわれていることが伝わってきました。人前で話しをしたり、表現するのが苦手だったり、緊張もしたかと思いますが、今回の報告会が一人一人にとってよい経験の1つになったことと思います。今後、さらに学びが深まっていくことを願っています。



『新入生保護者ガイダンスを終えて』

事務長・入試広報部長 蒲 重光

コロナ禍で新入生保護者ガイダンスを実施しないまま入学を迎えた保護者の皆さまが、この二月に卒業を迎えられました。スタートから他の学年とは何もかも違ったにもかかわらず様々な工夫を重ねて保護者の皆さまの繋がりを大切に守っていただきまして、ありがとうございます。

そして、今回のガイダンス合宿でこの大切な繋がりが新入生の保護者の皆さまへと引き継がれていく様子は感動的でした。

皆さまの表情がPTA、萌黄の皆さんとの交流会を終えた後にとっても明るく、なんとも言えない「ほっ」としたものになっていました。もちろん、不安もたくさんあったのですが「一人じゃない、ここには同じ経験をしてきた仲間がたくさんいる」という安心感のようなものを感じたのです。

そのような感覚を持つことができたのはあるお母さまのお話からでした。ここに来るまでの孤独感やお子さんが不登校になっている時のお気持ちなどを詳しく教えていただけたからです。

先日、私があるお方のお気持ちを大切にできなかったため多大なご迷惑をおかけしてしまうことがありました。この文章を書くにあたって、ガイダンスの時のお話を思い出し、お一人おひとりのお気持ちを大切に続けることをあらためて心に誓い、新年度を迎えたいと思います。

『入学式に寄せて』

東部支部 加藤 さとみ(2020年度卒業)

親の入学ガイダンスが久々に行われると聞いて千葉県から今回参加しました。

親が元気になる仕組みになっていて、私は一緒の部屋だった方とのグループラインは大切な場所となっています。

息子は2021年春卒業して、専門学校半年で辞め、アルバイト、働きながらやっぱり大学行きたいとここ一年受験勉強頑張っていました。高い目標設定して第一希望の大学に合格しました。私は出身校が黄柳野高校だったから頑張れたと思っています。

失敗もするけど、自分で決めて行動する事が大事なだと子どもに教えられた気がしています。

束の間でしたが久々の仲間、蒲先生に逢えて嬉しかったです。

何年かぶりの支部会、全員集合できなくても行われるのを今から楽しみにしています。黄柳野高校には大切なものをもらった気がして感謝しかありません。ありがとうございました。



『新たな生活の始まり』

野末 明秀(2023年度入学)

令和5年、黄柳野高校入学ガイダンスが行われる体育館に向かっている途中の風景は、風が強く草木が大きく揺れ、時々、雲によって太陽に陰りがあるものであり、その時の心境に近いものを感じながらガイダンスに臨みました。

ガイダンスは、教育方針に始まり生活指導や寮生活等、詳細な内容を具体的に説明して頂き、よく理解できるものであり、子供がこれから学校生活を無事に行っていけると思えるものでした。

その後、場所を変えたPTA支部交流会では、これまでの経緯や状況などを聞かせて頂き、これから子供に何をしてあげれば良いのかを考えることができる機会になったと思いました。

そして、入学式を行う日は、昨日までの強風が弱くなり草木の揺れもほとんどない状況であり、大空は雲ひとつない快晴で心地よい春の光が暖かく迎えてくれました。

入学式では、子供たちの堂々とした入場に始まり、最後に決意表明を聞くことができ新たな生活が始まることを感じるとともにこれからの学校生活が実り多いものになるようお願いながら学校を後にしました。



【マンスリーサポート】不登校経験者のための全寮制つげの 高校に毎月のご支援をお願いします



つげの高校マンスリーサポート制度を始めました。

マンスリーサポーターは単なる支援者ではなく、つげの高校の教育活動を広め、ともに創っていく仲間になっていただきたいのです。詳しくは URL でご確認ください。皆さまのご参加をお待ちしています。

マンスリーサポーターの皆様からのご支援は、これからも不登校経験のある子どもたちの学び直しの学校を維持するため修繕や教育機器の整備にすべて使わせていただきます。

サポーターは3種類で、つげの高校の周りで見守ってくれている動物たちをイメージしました。

ウサギサポーター 毎月 1,000 円 定期的につげの高校の取り組みをメールでお知らせします

カモシカサポーター 毎月 2,000 円 メール+年に一回「つげの春秋」をお送りします


コノハズクサポーター 毎月 5,000 円 メール+年に 10 回程度「つげの春秋」発送+つげの高校のイベントへのご招待



<https://congrant.com/project/tsugeno/5407>

左図はマンスリーサポーターの QR コードになります
スマートフォンをお持ちの方はこちらをご利用下さい。

【黄柳野高校情報 ホームページ・SNS】

ホームページ	http://tsugeno.ac.jp/	
Facebook (フェイスブック)	https://www.facebook.com/tsugeno.hs	
Twitter (ツイッター)	https://twitter.com/tsugenokoukou	
Instagram (インスタグラム)	https://www.instagram.com/tsugenokoukou/	
Instagram (インスタグラム) ダンス部	https://www.instagram.com/tsugeno_dance/	
Instagram (インスタグラム) MUAY/キックボクシング部	https://www.instagram.com/tsugeno_muay/	
Instagram (インスタグラム) 黄柳野アグリ 黄柳野高校の【6次産業と経営】チームです。	https://www.instagram.com/tsugenoegg/	
Instagram (インスタグラム) MUDDY ANTS ATHLISS 総合探究スポーツコース 【MA.ATHLISS】	https://www.instagram.com/ma.athliss/	
TSUGENO YOUTUBE	https://www.youtube.com/@tsugenoyoutube5101/	

【PTAの支部編成変更に伴う萌黄会の支部について】

支部の人数格差を是正するためPTA支部編成の見直しが行われました。

☆萌黄会会則の付則3による「支部はPTA支部と対応する地域とする。」に準じて変更します。

支部名	旧支部名
東部支部	東部+静岡(東部、伊豆)+甲信越(新潟、山梨)
中央支部	東海(三河)+静岡(中部、西部)+甲信越(長野)
東海支部	東海(名古屋、尾張、知多、岐阜)+甲信越(富山、石川)
西部支部	西部+東海(三重)

《新たに会員になられた方(敬称略)》

東部支部 3名 挽地和枝、荒井佳奈子、秋元恵美

東海支部 2名 高橋弘典、熊崎理恵

中央支部 5名 竹内奈美、石原須美子、辰巳義治、寺沢修、伊藤勝啓

西部支部 1名 森實孝

入会された皆様ありがとうございます。心より歓迎いたします。

黄柳野高校は、子供が卒業しても、親は繋がっていける学校です。

行事等でお会いできる日を楽しみにしています。

《行事日程》

入学ガイダンス 4月8日(土)

入学式 4月9日(日)

(今後の予定)

萌黄会総会 6月3日(土)

学園祭 9月30日(土)

第28回卒業式 2月17日(土)



《編集後記》

皆様お忙しい事と思いますが、萌黄会総会にご参加いただき、直接会って話が出ることの大切さを、改めて思う事が出来る機会になればと思います。

寒暖差の多い日が続いています。お身体ご自愛ください。

萌黄会 広報委員長 杉本知子 (2014年度卒業)